

工場ユニフォームの試作と セミオーダーシステムの開発

既製服がほとんどである工場ユニフォームに、WEBを活用したセミオーダー方式の受発注の仕組みを導入・システム化する。また、セミオーダーに適した実用性・安全性の高いスタイリッシュなユニフォームを試作する。

向井 孝成 (NEO RESISTANCE)

受付番号: 2513212476

代表者名 向井孝成
所在地 〒193-0943 東京都八王子市寺田町432
連絡先 042-673-2468

資本金 (個人事業者)
従業員 2人
URL <http://the-horizon.jp/>

取組みの背景

日本国内の中小製造業に対しては、いまだ3K (汚い・きつい・危険) のイメージを持つ人も多く、それが採用困難の一因とも考えられている。今後も就職者が減少を続けていくと、製造現場の高齢化が進む恐れもある。

そのための解決案として、製造業現場に「カッコイイ」イメージを多くの人に抱いてもらうことが、企業採用や勤務者・就労者のモチベーション向上に繋がるのではないかと考えた。作業用・工場用ユニフォーム (作業着) は基本、既成服がほとんどである。そのためファッション性や他との差別化に力を入れた工場ユニフォームを手掛けており、現場の評判を受け、改良を重ねることでより多くの製造業で利用いただけると見込んだ。また、多くの方よりどこからでもWEBで発注を受けられるよう、販売システム (セミオーダーシステム) 開発の必要性を感じていた。



ブルゾン



パンツ

取組みの内容

スタイリッシュな作業用・工場用ユニフォームの試作と、WEBを活用したセミオーダー方式の受発注の仕組みを導入したシステムを構築した。

●ユニフォームの試作

コスト面、機能面、デザイン面の検証のため、本生産前までの試作を実施した。試作したのはブルゾン6着、パンツ3着、シャツ2着、アウター2着、の計13着である。

デザイン面では、機能性とファッション性をどう組み合わせるかが課題となった。たとえばブルゾンなど、衣服の一番外側となるアウターについては、肩周りや身ごろの丈の長さなどが動きやすいかどうか、作業中のウエスト周りのサイズ感が重要となる。またデザイン面においても、作業着として必須であるポケットは、デザインが画一的になりやすい。そのため試作を重ね、ポケットの入口の色を変えたり、ポケットを斜めに配置したり、ポケットに蓋やチャックをつけるなど、デザインに工夫を加えた。これにより、機能性を維持しつつ、デザインの違いを楽しみ、選べるようになった。

強み

アパレルの企画・デザインを主業務とする個人事業として開業して以来、上質なデ일리ウェアや映画の衣装など様々な洋服のデザインを手掛けてきた。2013年度には「Tokyo新人デザイナーファッション大賞プロ部門」を受賞するなどの実績を重ね、バイヤーからの認知度が向上している。大衆性よりも、前衛的なデザイン性や機能性を重視したフォルムに力を入れている。また、小ロットでもオーダー可能である。オリジナリティを追求したファッションや希望に合わせた機能を付加した別注商品にも積極的に取り組むなど、特にこだわりたい方に満足いただけるファッションを心掛けている。アパレル分野で培った経験やノウハウを活かし、2016年より次世代型ワークウェアブランド「the HORIZON」を本格的にスタートさせる。



手がけたファッション例

パンツについては、スリムなシルエットでありながら、膝の曲げ伸ばしが楽にできるようディテールには細心の注意を払った。膝部分の色やデザインに変化をつけることにより、動きやすい機能性と、スタイリッシュなデザイン性を融合させた。

●セミオーダーシステムの開発

ユニフォーム受注専用のサーバーを自社内に設置した。また、開発したシステムは、ユーザーがWEB上で好みのデザイン・色・サイズなどを選択することで個性的なユニフォームの受注が可能とした。

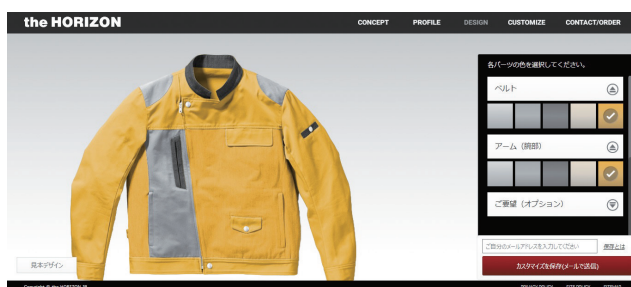
システム開発においては、ユーザーが自分でどこまで選べるかが課題となった。そのため、WEB上にいくつかのカスタマイズ例を提示し、ファッションやWEB操作が苦手な人でも楽に選べるよう工夫した。

〈色選択〉

ベルト・腕部・襟・前身ごろなどパーツによって色を選び、好きな配色にすることができる。



パターン (1)



パターン (2)

〈パーツ変更・交換〉

小規模な会社運営を活かし、ユーザーからの個別の要望についても可能な限り対応し、また国内の協力工場と連携することで、よりニーズに近い製品が出来上がる。

また、本来はポケットも取り替え可能にできる予定であったが、製造工程でのやり取りが複雑でトラブルの原因にもなりやすいほか、価格設定が多くシステムが複雑になってしまう。そのため、事業化してからユーザーの反応を参考に、今後の導入を検討することとした。現段階では、ポケットを取り替え可能にするのではなく、ブルゾンによってポケットのデザインを変えることで、バリエーションを増やした。

取組みの成果

セミオーダーシステムのベースができたことで、WEB上で簡単にオーダーや色の組み合わせができるようになった。今後は、多様なサイズやデザインの注文に対応できるよう、商品のバリエーションを増やしていく。

実用については、300人規模の企業や、30人～100人規模の企業など、主に製造業を営む中小企業を対象に営業し、安全性とファッション性が高いユニフォームをセミオーダーで発注できるとPRを行っている。また、2016年10月の作業用品関連の合同展示会へも出展し、知名度の向上と共に市場への普及に努めていく。